

Web Usability & Accessibility

7 外務省サイト



アクセシビリティ分析担当
濱田英雄
(株)ユーディット 主任研究員
hamada@udit-jp.com



ユーザビリティ分析担当
石田直子
(株)ユーディット 研究員
naoko@udit-jp.com

(株)ユーディット
URL <http://www.udit-jp.com>
「情報のユニバーサルデザイン」を目指し、アクセシブルなWebの制作やコンサルティング、高齢者や障害者も利用できるユニバーサルデザインの情報環境、製品の調査などを行っている

他省庁サイトに比べ、総合評価は「良」 情報分類項目やALT属性への配慮を

何かと世間の注目を集めている「外務省」。国内はもとより、海外からのアクセスも多い同省のサイトだが、Web上での情報公開には支障をきたしていないだろうか。「ユーザビリティ&アクセシビリティ」への見地から、伏魔殿?外務省サイトを考察する。

内容羅列傾向がみられる 外務省のページデザイン

トップページの重要な役割は、そのサイトが何の情報やサービスを提供しているのか、またそれはサイト内のどこを見ればわかるのかがユーザーに伝わることです。ユーザーは多かれ少なかれ、訪れたサイトでの目的をもっています。ユーザーが目的達成へのルートを、トップページを見ただけでイメージできるサイトが理想的です。

外務省のような大きなサイトでは提供している情報やサービスは多岐にわたります。しかし、多くののサービスを用意していても、ユーザーが気づかなければ意味がありません。

外務省のページは一見整理されていますが、細かいリンクが大部分を占めています。リンクの言葉だけでは内容がうまく伝わりません。内容を伝えることと、内容を羅列することは違います。情報やサービスが多いほど、簡潔にうまく内容を伝えるテクニック、サイト内を探しやすくする配慮が必要となります。

トップページには、「サイト紹介」「サイトの目次」にあたる項目をつくり、サイトのサービスの概略を伝えます。このときに、サイト側の業務内容で分けるのではなく、ユーザーのニーズを分類した上で目次・項目を考えていくといいでしょう。スペース

図1 <http://www.mofa.go.jp>



ユーザビリティ総合評価 ★★★★★

一口コメント 細かい点でもう少し配慮が欲しいところがありますが、全体に使いやすさへの努力がみられるサイトです。世界各国の情報が掲載されていたり、読み物としても面白いサイトなので、時間があるときにぜひご覧ください。

アクセシビリティ総合評価 ★★★★★

一口コメント 一部問題がありますが、これまでの省庁と比べて相対的にはいいと思います。

に余裕があれば、カテゴリについての説明文をつけるのも有効です。

ALT属性の活用次第で アクセシビリティは向上

アクセシビリティを配慮する上で一番問題になるのは、画像が見えず音声ブラウザを使っている視覚障害者のことだと思います。そこで画像の代替情報を提供するALT属性が重要になってきます。ただ困ったことに、ALT属性に何を付けるか、必ずしも「これが正解」と言い切れない部分があります。

たとえば、同じ写真を見ても、そのイメージを文字に置き換えようとする、製作者によって違ってきてしまいます。もちろん、聞く人によって言葉のとらえ方も違ってきます。

通常ALT属性に何を付けるかは、製作者の感性に委ねられています。イメージが正しく伝わるか簡単にテストする方法としては、他人に写真のリンクを外して書かれている代替文字情報だけで、どんな写真なのかをイメージしてもらうのもいいでしょう。

また、リンクをさせるボタン画像やタイトル画像のALT属性は、単に表面の文字を入れるだけではなく、つけ方によって一般の人にも有益になる場合もあります。外務省のトップページにある「省員近思録」などは、漢字を見れば何となくイメージは伝わりますが、読み方は「しょういんきんしろく」で正しいのかわかりません。ここではALT属性に、カナで読み方を入れるとか、「職員の思い」などと解説を入れたらいいと思います。

ユーザビリティについて (解説/石田直子)

ユーザーにサイトの目的が伝わること ★★

外務省のサイトの中を見ていくと、海外渡航情報、世界各国の人口や産業などの基礎データなど、世界の国々に関する情報が満載です。海外旅行をする人から、地理の勉強をしている学生まで使える内容になっています。しかし、サイトのトップページには細かいリンクが並んでいるだけで、こうした情報があるとはわかりにくくなっています。せっかくの充実した内容がもっと活用されるように、リンクを1階層奥にし、可能な限りトップページで内容の紹介をしたほうがいいでしょう。

全体像がトップページで把握できること ★★★

トップページではカテゴリ分けを行い、メニューが整理されています。しかし、「トピックス」と「新着情報」の違いがわかりません。またここに出てきた最新情報は、それぞれどのカテゴリに分類されるのかわかりません。どこにも分類されないこの2つが、ページの大半を占めているため、サイトの全体像が少し曖昧になっています。

デザインや構成が統一されていること ★★★★★

ヘッダ情報はほぼ統一されており、ナビゲーションは比較的にやすいサイトづくりです(図2-①)。

トップページの右部分にある一連のバナー(図1-①)ですが、その他の部分が整然としているのに比べて、ここだけはそれぞれが自己主張していて統一感がありません。通常のサイトではこういうバナーは「広告」と認識しているため、読み飛ばす癖がついている方はいませんか? また文字色も薄く、大きさもまちまちであるために、文字の内容が頭に入ってきません。

必要な情報が適切な場所にあること ★★★★★

「トピックス」や「新着情報」の一つをクリックしてみると、これらがどのカテゴリに入っている情報かわかるように、上位カテゴリがリストになっています(図2-②)。このように各情報が分類されると、後から再度読みたくなった場合など、探しやすいでしょう。

次の動作がわかりやすいこと ★★★

各国情勢のページから、各地域のページを開くと地図が表示されます(図3)。この地図は右に並んでいる国名のリンクにマウスカーソルで触ると、その国の色が変わってどこの国かが地図上で確認できるようになっています。大変面白い機能ですが、文字をクリックするまでその機能は気づきません。どちらかといえば、地図がリンクになっていると考えて地図を触ってしまう人が多いのではないのでしょうか。こうした特殊な機能の場合は、「国名を触ると地図上でその国が表示されます」といった説明が必要です。これはスクリーンリーダーソフトを使っている人に対しても、画面上の視覚的な機能の説明となります。

予想されたフィードバックが返ってくること ★★★

各ページの最後についている「INDEX」というリンクがあります(図4-①)。これをクリックすると、トップページに戻るのかと思いましたが、各上位カテゴリ内の目次を指しています。言葉遣いとして、「INDEX」ではどのページのインデックスを指しているかわかりません。そもそも各カテゴリの目次に「INDEX」という言葉は使われていません。

図2 TOPICS

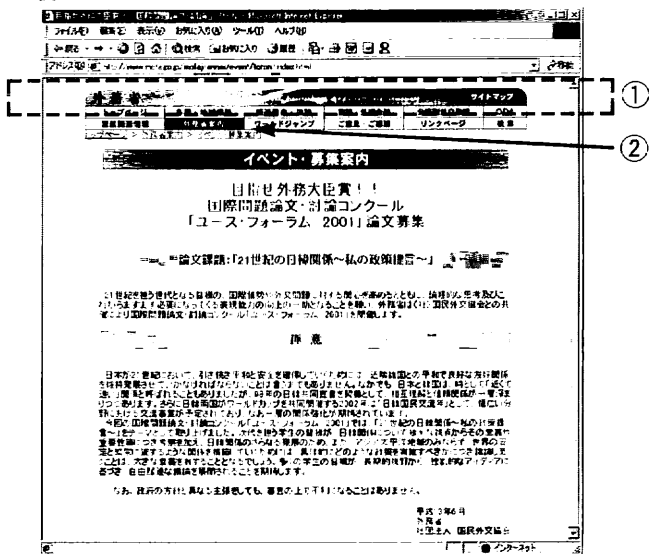


図3 地域別インデックス(アジア)

http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/asia.html

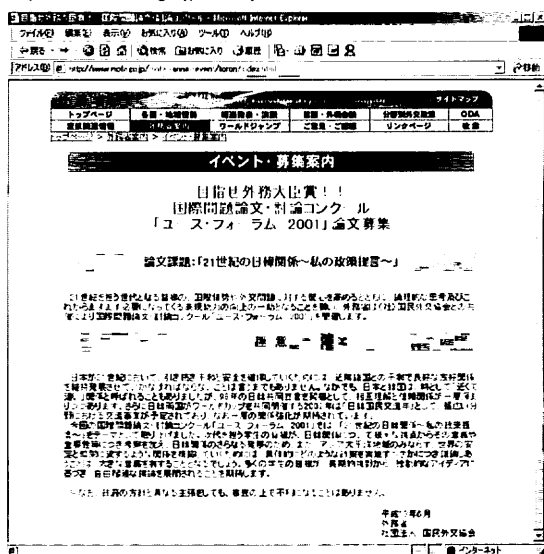


図4 ページ下部分

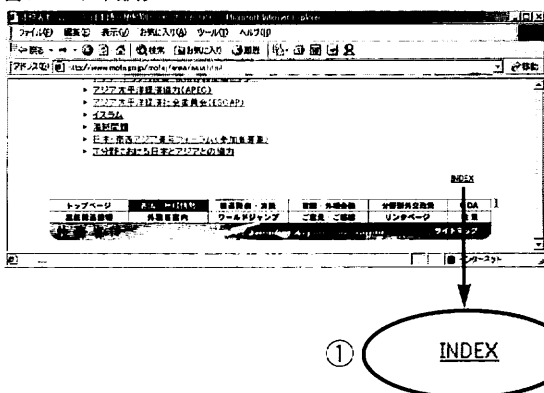


図5 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>



アクセシビリティについて (解説/濱田英雄)

画像にはALT属性をつけること ★★★★★

ALT属性はついていますが、もう一工夫すればもっと良くなる場所がありました。

外国語の乱用はしないこと ★★★★★

一部にわかりにくいカタカナ言葉も使われていますが、省庁柄許せる範囲でしょう。

<title>タグは的確につけること ★★★★★

少し長いところがありますが、見た範囲では適切についていると思います。

背景と文字色はコントラストがあること ★★★★★

一部画像ですが、コントラストが低いものが見られました。

フレームの使用は必要最小限にすること ★★★★★

一応フレームは使われていないようです。

新しい技術には代替手段を用意すること ★★

音声ブラウザではリンクできない技術が一部に使われています。

その他

【各国・地域情勢】(図5)

●選択メニュー

このページの下にある選択メニューですが、274項目と量も多く、音声で読み上げるのが大変です。最後の「表示」ボタンが、決定ボタンとして認識できないようでボタンを押せず、リンクすることができませんでした。リンクできないのは音声では致命的なので、早急な対策が必要です。

●不要なALT属性

このページの世界地図は幾つもの画像を組み合わせで作成されていますが、リンクのない画像全部に「世界地図」とALT属性がつけられています。音声で聞くと何回も意味のない言葉(世界地図)が読み上げられます。これでは、まるでアクセシビリティに配慮しなければいけないという強迫観念のように、ALT属性をつけている気がします。

音声ブラウザは安価なものやフリーソフトもあります。一度音声で聞いてみて、聞く人の身になってALT属性をつけることをお勧めします。

【外務省案内】(図6)

●ナビゲーション

各ページのヘッドにメニューのナビゲーションバーがありますが、音声では常に最初に同じものを聞かされることとなります。最初に見えない形でナビゲーションバーを飛ばすためのリンク(アンカー)をつけた方が親切です。

●リンクの色

この外務省のサイトでは、少なくとも3色のリンクテキストを使っていますが、下線が引いてあるとはいえ、できれば統一した方が無用の混乱を避けられると思います。

デザイン上やむをえないとしても、既読と未読の色の違いが少なく、行ったところと行かないところの区別がわかりにくくなっています。もう少し違いがわかるようにしてもらいたいと思います。

【田中大臣のASEAN+3外相会議、ARF及びPMC出席日程】(図7)

●表の作り方

このページの日程表は横軸に日にちが使われています。音声ブラウザは左上から横に下方向に読み上げます。ですから、この表を音声で読んだ場合、24日、25日、と読み上げ、次に各日の午前の部、午後の部となり、いつ何があったのかがわかりにくくなります。縦軸と横軸を逆にして、日にちを縦軸になればかなりわかりやすくなると思います。

図6 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/index.html>



図7 http://www.mofa.go.jp/mofaj/kaidan/g_tanaka/asean_01/nittei.html

